

H25新規の取組み予定事業を下線で表記
H25廃止・中止の取組みを見え消し線で表記

区分	主要施策	説明	備考
1 観光プロモーション	1-1 観光情報の共有	○ 基礎統計、各種調査の整理・実施・分析 ・半期毎の「入込調査」とあわせ、既往調査から観光動向やニーズを分析する。 ・ホームページ、講演等を通じ事業者等へ情報をフィードバック。 ・観光満足度調査の定期的実施(22年冬、23年夏、24年夏実施済み)。	
	1-2 組織的な観光戦略の樹立	○ 観光審議会 ○ ニセコ町観光戦略会議 ○ ニセコ観光局については引き続き検討を進める(4-1)	
	1-3 海外プロモーション(インバウンド)	○ VJ地方連携事業を活用し、効果的なファムトリップを選択、実施 ・倶知安町、小樽市、札幌市などとの連携(H25はタイのメディア招へいを予定) ○ MICE誘致のために作成・配布資料の活用を通じた海外旅行会社等との連携構築・強化(町民センターの活用含む)。 ○ ニセコエリア訪日外国人誘致協議会の活用 ○ スキーエクスポの誘致・開催、海外の旅行会社パンフレットの紙面提携	・MICE誘致については、倶知安町のほか、札幌市等との連携も行う。 ・スキーエクスポについては、倶知安町と連携して開催誘致
	1-4 国内プロモーション	○ 道外プロモーション ・後志観光連盟との連携のもとに実施 ・東京ニセコ会の活用 ○ モンベルフェアへの継続出展 ○ 多種の道内事業への参加。 ・JRとの連携、札幌地下歩行空間の活用、サッポロビールとの連携等 ○ 日本ハムファイターズとの連携(応援大使との連携など) ○ 各種国内プロモーション活動に対する支援 ○ 旅行雑誌等で観光PR広告を実施。機動的なPRを進める。 ・道内FMラジオで観光番組の放送 ・インターネット動画配信	
2 受入基盤づくり	2-1 環境先進リゾートづくり(各種ハード整備及び計画策定等)	○ 五色温泉インフォメーションセンターの活用(H24建設、H25オープン)→指定管理者の導入検討 ○ アンヌプリ森林公園の整理、あり方検討 ○ ビュープラザ再整備(基本構想)に向けた検討 ○ 地域内交通体系の整備充実 ○ ニセコ源泉の売却交渉 ○ 中央地区倉庫群活用検討への参画 ○ フットパス整備の継続 ○ グリーンバイクの継続検討 ○ 道の駅ニセコビュープラザの機能向上(滞留スペースの確保、ロードバイクスタンドの設置) ○ 花による観光道路美化 ○ おもてなし用タクシー券配布 ○ ニセコ観光魅力アップ事業補助(H25まで)	
	2-2 地域資源の活用	○ 温泉紹介冊子の発行 ・温泉の魅力を再考する冊子/泉質・効能 ○ お土産品開発に関する対応検討 ・既存土産等のブラッシュアップなど ○ 物販販売に対する支援策の実施 ・ニセコ観光魅力アップ事業を通じた販売イベント参加等への支援	
	2-3 スキー場の安全対策	○ アンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会・雪崩調査所・各索道会社及びパトロールによる安全対策の整理・維持のための体制整備	
	2-4 (株)キラットニセコ支援	○ 自然エネルギー導入を検討(安定的な事業運営) ○ 観光協会・商工会・ニセコバス・JRとの連携事業を進め、経営力を強化する。	
	2-5 (株)ニセコリゾート観光協会支援	○ 観光地づくり推進のため観光協会事業を支援する。 ・地域資源を生かした観光資源の開発に必要なデータ収集と発信 ・観光地としての魅力向上策 ・地域イベントの支援	
	2-6 観光イベントの創出、育成	○ ニセコフェスティバル、花火大会、マラソン大会、ハロウィンカボチャなど、地域観光イベントの直接支援を進める。役場が主体ではなく民間主体の事務局機能の強化を進め、役場は後方支援に力を置いていく。 ○ 新規や小規模のイベントについては、町の協賛枠を持ち、商工観光課の判断と責任において機動的に支援する。 ○ 森のカフェフェス(H24第1回開催)、ツールド北海道、アイアンマンレースの開催支援	
3 材育観光人	3-1 観光人材育成・ホスピタリティ醸成	○ ニセコ町商工会・ニセコ町・北大観光学高等研究センターの人材養成事業を継続実施(23年度～25年度)。 ・宿泊施設プロパー社員養成プログラムの継続 ・起業促進のためのプログラム(外国人含む)作成 ・観光事業者・町民を対象に、観光客を迎える基本姿勢を学ぶ機会の確保 ・YTL・ニセコ高校・HISとの連携検討	
4 観光局による広域観光	4-1 ニセコ観光局の設置	○ ニセコ町、倶知安町とで共同して観光振興に取り組む組織「ニセコ観光局」の検討・設立 ・局機能の検討・整理(PR・計画策定・BID主体など) ・観光協会等の今後の役割整理 ・観光圏の形成、ブランド化 ・BIDなど財源の検討・確保	
	4-2 交通アクセスの向上	○ 千歳ーニセコ、札幌ー小樽ーニセコのアクセス向上のため、バス運行ダイヤ、公共バス停の設置・時刻表作成等の効率化を進めていく。 ○ 域内交通は、 デマンドバスの観光客活用を進める 。 ・ひらふを含め、観光客→市街地の仕組みの検討 ○ 「ニセコエクスプレス」の運行確保と陳情活動。 ・運行期間におけるキャンペーン等実施 ○ 特急スプリ号の利用促進と運行継続 ・新幹線函館開通を見越したJRと連携した取組み	
5 光課その他観	5 その他	○ ニセコ駅前車台の再活用 ○ 国民保養温泉地「ニセコ温泉郷」の計画見直し(H25～H29)	

※施設維持、管理費を除く